

令和6年度 香芝中学校 1年生 2学期シラバス（学習内容のお知らせ）

2学期に学習する内容の予定です。家庭での学習計画の参考にしましょう。（内容は変更される場合もあります）

教科	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力	評価の観点・評価方法
国語	<p>【言語事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声のしくみとはたらき ・活字と手書き文字・画数・筆順 ・部首と成り立ち ・比喩・統制・反復・対句・体言止め <p>【文法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続する語句・指示する語句 ・単語の類別・品詞 <p>【随筆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字のない葉書 <p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹取物語 <p>【説明文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を関係づける <p>【小説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トロッコ <p>【書写】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書の基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音節や五十音図のしくみを理解する。 ・漢字の字体、書体の違い、漢字の画数、筆順を理解する。 ・漢字の部首と意味の関係について理解する。 ・漢字の成り立ちについて理解する。 ・さまざまな表現技法について理解する。 ・接続する語句、指示する語句について正しく理解する。 ・単語の類別や各品詞の特徴について理解する。 ・行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。 ・視点人物を変えて作品をリライトする。 ・古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古文の言葉の世界を感じ取る。 ・資料を読み取り、課題について話し合う。 ・資料を関連づけて、自分の考えをまとめる。 ・人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。 ・情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果を考える。 ・行書の特徴を理解し、丁寧に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> 言語に関する課題・漢字テスト 定期テストなど ②思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> スピーチ・暗唱・リスニングテスト 作文・記述課題・読解課題 定期テストなど ③主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> 課題や提出物とその完成度 授業への取り組み方 定期テストなど
社会	<p>〈地理的分野〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域 ヨーロッパ州～オセアニア州 <p>〈歴史的分野〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代までの日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域についての自然環境や産業について考え、理解する。 ・古代文明や宗教の起こり、農耕の広まりや生産技術の発展から古代の社会の変化を多面的・多角的に考察し、課題を見つけ、主体的に探究する力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、ノートなど ② 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、ノートなど ③ 主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・提出物の完成度など

教科	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力	評価の観点・評価方法
数学	◇1次方程式 等式の性質 方程式とその解 方程式の解き方 比例式 1次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 方程式の必要性和意味及び、その解の意味を理解する。 等式について調べ、その意味を理解する。 文字をふくむ等式から、文字の値を求めることができる。 文字をふくむ等式を用いて身のまわりにあることばを形式的・能率的に処理し、その問題を解決できるようにする。 	① 知識・理解 ・発言・発表, 定期テスト ・小テスト ・授業での様子など
	◇比例と反比例 関数 比例 座標 比例のグラフ 反比例 反比例のグラフ 比例, 反比例の利用	<ul style="list-style-type: none"> 関数の意味を理解する。 比例, 反比例等の関数の特徴を考察し、その理解を深める。 身のまわりの関数関係に注目し、変化や対応のようすを表, 式, グラフを使って表せるようにする。 身のまわりにある比例, 反比例の関係にある数量を見だし, 学習したことを問題の解決に活用できるようにする。 	②思考・判断・表現 ・発言・発表, 定期テスト ・小テスト ・授業での様子など
	◇平面図形 平面上の直線 図形の移動	<ul style="list-style-type: none"> 平面上にある直線, 角, 線分についての用語の意味や記号を用いた表し方を理解する 平面上にある2直線の垂直や平行の関係, 距離の意味などについて理解する。 図形の移動について, 意味や性質を学び, 具体的な場面で活用できるようにする。 	③主体的に学習に取り組む態度 ・ワーク, ノート, 授業のまとめ ・小テストの直し ・授業での様子, 自己評価 ・定期テストなど
理科	○身の回りの物質 ・いろいろな物質とその性質 ・いろいろな気体とその性質 ・水溶液の性質 ・物質のすがたとその変化 ○光・音・力による現象 ・光による現象 ・音による現象 ・力による現象	<ul style="list-style-type: none"> 物質の性質から物質を区別する。 気体の性質から気体を見分ける。 物質が水にとけるときのようなや、とけた物質のとりだし方について理解する 物質の状態変化から物質を見分ける。 光による反射や屈折の規則性について調べる実験・観察を行い, 光の特性を理解する。 音はどのように発生し, どのように伝わるのか理解する。 力にはどのような働きがあるのかを理解する。 	① 知識・技能 ・ペーパーテスト、実験観察の技術習得 ・実験結果の記録や整理、授業での発言などで判断 ② 思考・判断・表現 ・ペーパーテスト、実験観察による考察、 ・授業での発言などで判断 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・ノートやレポートの完成度、提出具合、授業での態度などで判断 備考：ペーパーテストは、小テストも含む。
音楽	◇歌唱分野 「朝の風に」「赤とんぼ」 クラス合唱曲 ◇器楽分野 ・アルトリコーダー (自作曲、「喜びの歌」他) ◇創作分野 ・拍子とリズム・音程 ・旋律の創作 ◇鑑賞領域 曲想と音楽のかかわり (シューベルト作曲『魔王』) 日本の民謡に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> 合唱への取組を通して、伸びやかに歌う技術を身につけると共に、仲間と互いに歌いあえる喜びを味わう。 歌詞の内容や曲想を味わいながら、曲に応じた歌い方を身につける。 アルトリコーダーの基本的な運指と美しい音色での演奏方法を身につけ、演奏の楽しさを味わう。 拍子と音程の基本的なしくみを理解し、拍に合わせてながら音程を考えた旋律づくりを楽しむ。 曲にしかけられた音楽表現の工夫に気づき、曲想と音楽のかかわりを味わいながら鑑賞する。 日本の民謡の特徴とそのよさを学び、受け継がれてきた価値と自分たちも伝承の担い手であるということに気づく。 	① 知識・技能 ・実技試験(歌唱・器楽) ・楽譜の書き方 ・定期考査 等 ② 思考・判断・表現 ・実技における演奏表現の工夫 ・鑑賞批評文やワークの記述 ・定期考査 等 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・授業の様子 ・ふりかえりシートや感想文 ・プリントやワークの取組 ・定期考査 等

教科	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力	評価の観点・評価方法
美術	<ul style="list-style-type: none"> ◇色彩構成 ◇レタリング・ロゴ鑑賞 ◇切り絵 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想で、直線・曲線をデザインする。 ・色彩のもつイメージを考え、配色を考える。 ・構成美の要素について学ぶ。 ・身の回りのデザインには意味があることに気づく。 ・デザインの良さや込められた思いを感じることができる。 ・自らのデザイン性とデザインにおける視覚的効果について作品によってそれを再現できる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 期末テストによる考查点 (実技課題による技能点を含む) ② 思考・判断・表現 作品の構成、表現方法の工夫点 作品アイデア・工夫による「表現力」 平面的な美の「構成力」 独創的な「発想・構想力」 ③ 主体的に学習に取り組む態度 作品の完成度。 描写による表現と構成の緻密さ。塗り・線描の丁寧さ。 作品をよりよくしようとする美術的工夫。 2学期通しての授業中の作業全般の内容。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 【体育】男女共通 ○体育大会の練習 ○長距離走 【体育】男子 ○マット運動 ○陸上競技 ・短距離走、リレー ○陸上競技 ・長距離走 【体育】女子 ○陸上競技 ・短距離走、リレー ○柔道 ○ダンス 【保健】男女共通 ○心身の機能の発達と心の健康 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操を正しく習得する。 ・集団行動では、集団の一員としての自覚を持ち、機敏かつ的確な行動を身につける。 ・全身持久力を高める。 ・マット運動では筋力や柔軟性を養い、さまざまな技に挑戦する。 ・陸上競技では記録の向上や競争の楽しさを味わう。 リレーでは、スピードのあるバトンの受け渡しを工夫する。 ・陸上競技では記録の向上や競争の楽しさを味わう。リレーでは、スピードのあるバトンの受け渡しを工夫する。 ・柔道の基本動作や基本となる技ができるようにし、伝統的な行動の仕方を守る。 ・ダンスの基本的な動きを身に付ける。 ・体の発育発達、循環器、呼吸器の発達生殖機能の成熟について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 ・実技テスト(各種の記録、評価) ・定期テスト ② 思考・判断・表現 ・定期テストでの思考・判断・表現の項目で自分の考えを具体的に記す ・各授業での配布プリント・学習カードの内容から判断する ・種目や授業内容に応じた思考、判断が適切にできる等 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・欠席・見学・遅刻がなく、意欲的に取り組む ・準備運動(補強等)をきちんと取り組む ・準備、授業、片づけに取り組む態度等
技術	<ul style="list-style-type: none"> 【材料と加工の技術】 ○製図 ・等角図 ・第三角法による正投影図 ○加工法 ○製品の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・等角図、第三角法による正投影図の描き方を知る。 ・製作手順とその留意点を知る。 ・制作手順に従い、工具を正しく使用し、製品を作製する。 ・作物の育成環境を調節する技術について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 ・工具の正しい利用や作品の成果 ・定期考査 等 ② 思考・判断・表現 ・作業の工夫 ・定期考査 等 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・授業の様子 ・実習の取組の様子 ・定期考査 等

<p style="text-align: center;">家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の生活と家族 ・ 住まいの役割と安全な住まい方 ・ 持続可能な住生活を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児とのかかわり方を考える。 ・ 子どもの成長と家族の役割を考える。 ・ 住まいの役割と、家族の生活と住空間の関わりについて理解する。 ・ 家庭内事故の危険性について理解して、予防や対策を考え、安全に暮らせるように工夫することができる。 ・ 持続可能な住生活を考えて工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 定期テスト ワークノートなど ② 思考・判断・表現 定期テストなど ③ 主体的に学習に取り組む態度 授業態度、ワークノート、クロムブック提出など
--	---	--	--

<p style="text-align: center;">教科</p>	<p style="text-align: center;">学習内容</p>	<p style="text-align: center;">学習のねらい・身につけてほしい力</p>	<p style="text-align: center;">評価の観点・評価方法</p>
<p style="text-align: center;">英語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇「どんな…が」と尋ねる ◇場所を表す前置詞 ◇動名詞 ◇過去形 ◇三単現のS ◇目的格 ◇「どれ」「どちら」を尋ねる表現 ◇持ち主を尋ねる表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手が好きなものなどについて尋ねることができる。 ・ 人やものがどこにあるか、場所を表す前置詞を使って伝えることができる。 ・ 自分が好きなことや得意なことを、動名詞を使って伝えることができる。 ・ 過去の行動について伝えることができる。 ・ 三人称単数現在形を使った文を作ることができる。 ・ 三人称単数現在形の疑問文で尋ねたり、それに答えたりすることができる。 ・ 文に応じて、主格、所有格、目的格を使うことができる。 ・ whichやwhoseを使い、尋ねる文を作ることができる。またそれを使って会話ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 文法内容を理解しているかどうか。 定期テスト、小テスト、パフォーマンステスト等 ② 思考・判断・表現 学習した文法を使い、文を作ったり自己表現をしたりできるかどうか。 定期テスト、小テスト、パフォーマンステスト等 ③ 主体的に学習に取り組む態度 英語を用いて積極的にコミュニケーションをとることができるかどうか。 継続的に学習に取り組みながら、自己の振り返りと次へつなげる力があるかどうか。 定期テスト、パフォーマンステスト、等 <p>*提出物も評価に含みます。</p>